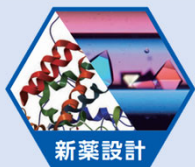


## きぼう利用プラットフォーム中間評価結果の概要

### 新薬設計支援PF



【総評】 期待通りの成果があがっている。さらなる成果創出に向けては今後の取組の加速が期待される。

- ・PF化によりJAXA主導の研究体制の整備、民間参入や国際利用が進み、PF必要性・成果を高く評価。
- ・ユーザー拡大、制度整備、研究室設置など運営が適切で、創薬分野の成長領域への展開も進んでいる。
- ・宇宙実験・論文・創薬成果など多くの実績を上げ、国内研究を牽引する存在となっている。
- ・今後の課題：知財強化、人員・設備の拡充、成果発信の工夫など。

### 健康長寿研究支援PF



【総評】 期待以上の成果があがっており、今後に向けた取組の継続が期待される。

- ・日本独自の軌道上マウス飼育で地上還元・有人探査研究に大きく貢献。
- ・高性能飼育装置の開発と自動化推進、サンプルシェアで運営・成果創出を強化。
- ・軌道上マウス実験で重要な科学的知見(筋、骨、免疫系など)を獲得し、国際的な研究成果を創出。
- ・今後の課題：ポストISSでの研究・実装方針明確化、自律化、組織保存バンク整備、AI活用・多種動物実験など。

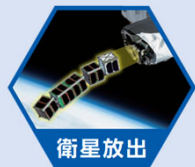
### 革新的材料研究支援PF



【総評】 期待通りの成果があがっている。さらなる成果創出に向けては今後の取組の加速が期待される。

- ・ELFにより非導電性・高融点材料の熱物性測定に成功し、国際的に日本の技術的優位性を証明。
- ・「きぼう」利用の主要4目標に貢献し、PFとして期待どおりの成果を達成。
- ・高成功率の運用と多分野への展開により、学術・産業利用が拡大。
- ・今後の課題：民間移管・工業応用・装置技術課題への対応を進めつつ、利用拡大と研究の高度化を図ること。

### 超小型衛星放出PF



【総評】 期待通りの成果があがっている。さらなる成果創出に向けては今後の取組の加速が期待される。

- ・「きぼう」からの超小型衛星放出で人材育成・国際貢献・商業利用に大きく寄与。
- ・多様なプログラム整備により国内外のユーザー利用を拡大し、放出事業の民間移管も進展。
- ・放出衛星は多数の技術実証・科学成果を生み、国際プレゼンス向上に貢献。
- ・今後の課題：今後は利用拡大、成果の可視化、商業価値創出、データ活用など一層の高度化。

### 船外ポート利用PF



【総評】 期待通りの成果があがっている。さらなる成果創出に向けては今後の取組の加速が期待される。

- ・大型装置の科学成果と小型・中型ミッション拡大で、科学・技術・商業の各面で成果を創出。
- ・中型曝露実験アダプタ(i-SEEP)や小型ペイロード搭載支援装置(SPySE)整備、民間移管、運用支援強化により利用者拡大と利便性向上を実現。
- ・全天X線監視装置(MAXI)・高エネルギー電子・ガンマ線観測装置(CALET)等が国際的に高評価の科学成果と多数の論文を生み、データ公開で学術貢献を拡大。
- ・今後の課題：商業利用の強化、利用率向上、魅力的な価格設定や広報、後継装置検討など。